

脊髄腫瘍と脊椎腫瘍

手足のしびれは要注意

脳梗塞や脳内出血などになると手足に麻痺を生じることがよく知られています。脳は手足の機能を調節する司令部ですが、脳の命令を手足に伝える神経の束が背骨のトンネルの中を通っています。もしここに腫瘍ができれば…。

最近手足が痺れるのに気がついた、指先がもたついてワイシャツのボタンがうまくはめられない、足がもつれてうまく走れない、階段の下りで手すりが必要になってきたなどの症状は、首の脊髄が腫瘍によって圧迫されている可能性が考えられます。また、背骨が痛くて寝られない、シツプをしても良くならず、マッサージをするとかえって痛みがひどくなってしまった、立ち上がる

のに手の支えが必要になり、脚の力が衰えうまく歩けなくなってきたなどは、胸椎に癌の転移があつて脊髄を圧迫しているということもあります。

実際には▽頸椎か胸椎か腰椎か▽脊髄自身から発生しているか▽発生場所が脊髄のトンネルの中かトンネルの壁にあたる脊椎か▽腫瘍は悪性か良性か―などによって、症状も治療法も予後もさまざまです。いずれにしても早期発見が重要であることは間違いないさうです。

ヘルニアやその他の疾患と区別するためにはMRI検査、およびCT検査が必要です。適切な手術を行えば麻痺がすっかり回復する例も多く、決して不治の病ではありません。まず「骨と関節のお医者さん」である整形外科を受診して下さい。

